

Makuake

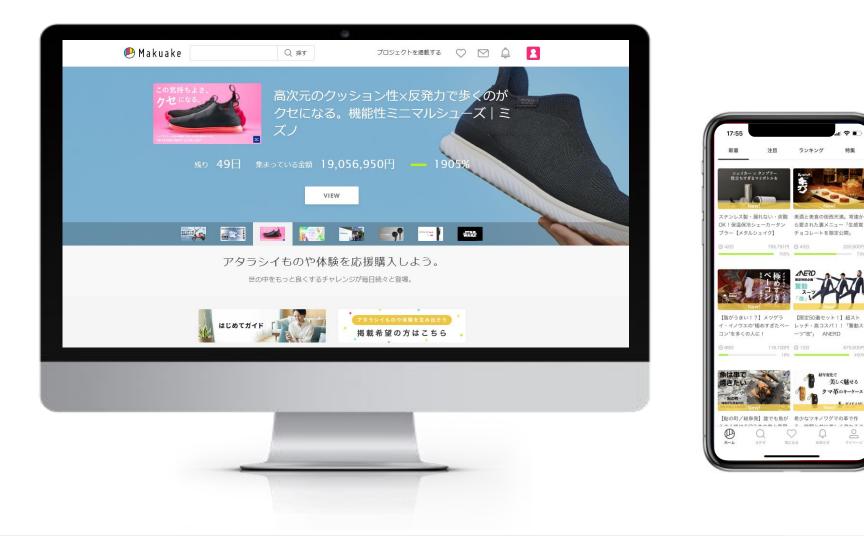
2022年9月期第3四半期 決算説明資料

株式会社マクアケ (証券コード:4479) マクアケが目指す世界

・ビジョンとミッションのもと、消費者が求めるアタラシイと企業が世の中に出したいアタラシイの結びつきによって豊かになる社会を目指しています。



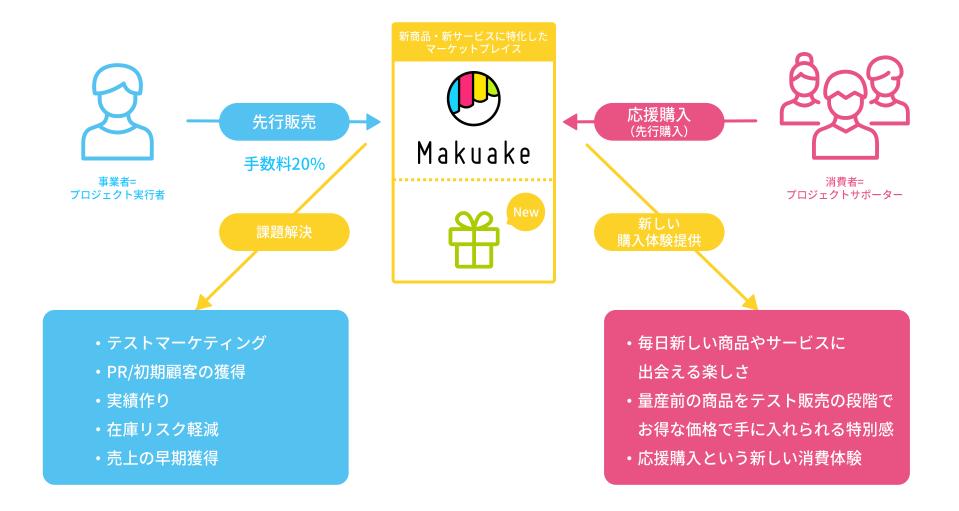
・新商品や新サービスのデビューに際して、消費者がいち早く応援購入できるマーケットプレイスです。



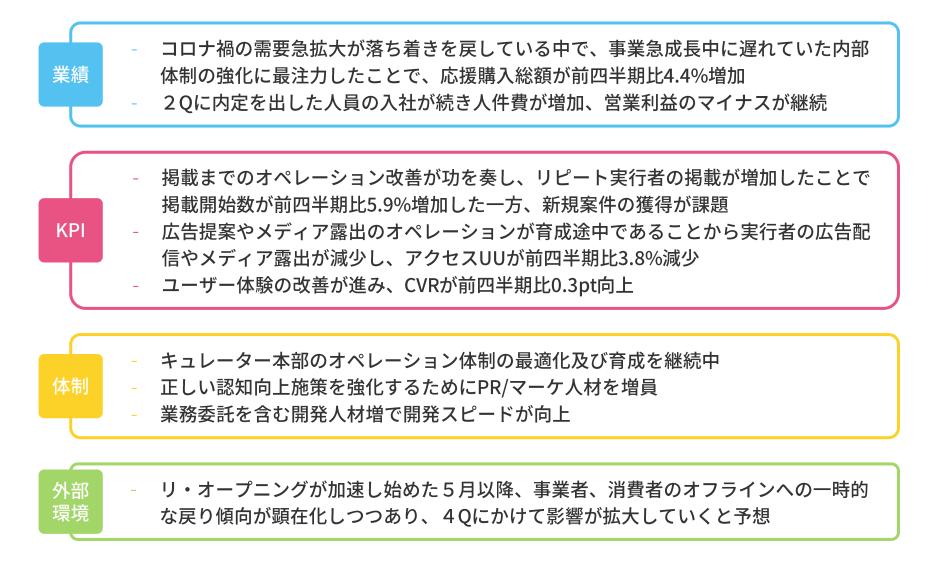
特集

Makuakeのサービスモデル

・事業者は企画中の新商品や新サービスをMakuakeで先行販売でき、消費者は気に入った商品を応援の気持ちを込め て先行購入できる仕組みとなっています。

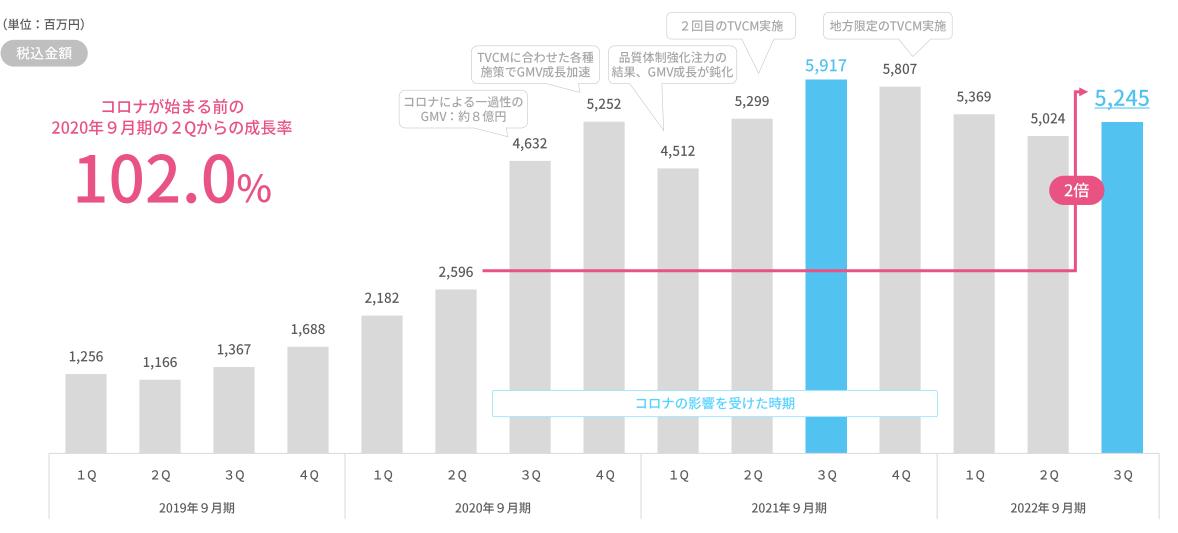


決算情報



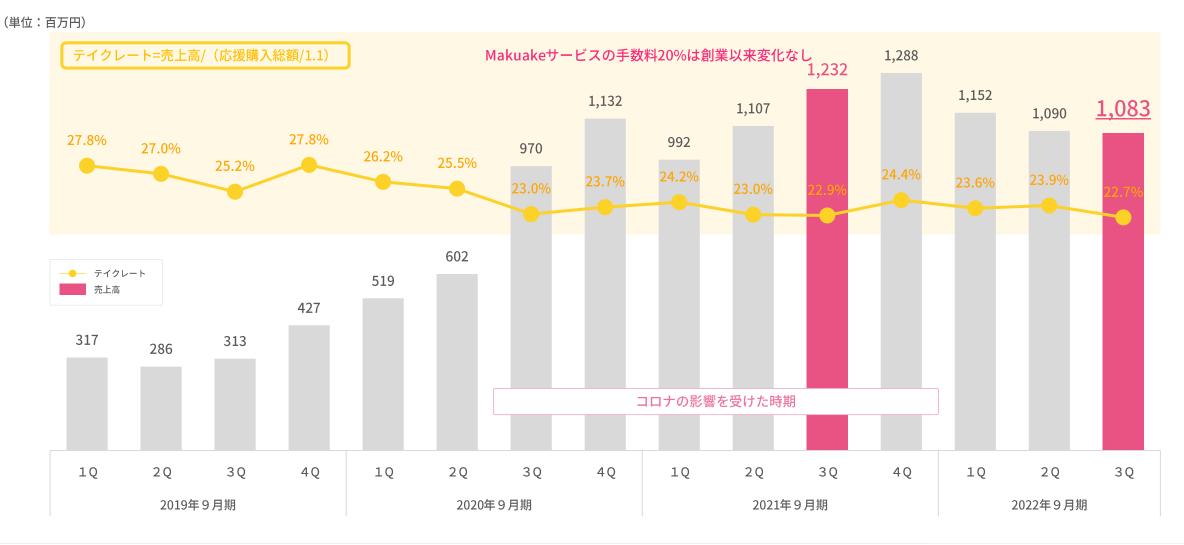
応援購入総額(GMV)の四半期推移

・コロナ禍の需要急拡大が落ち着きを戻している中で、事業急成長中に遅れていた内部体制の強化に最注力したことで、GMVが前年同期比11.4%減少しましたが、前四半期比では4.4%増加し、コロナ前比2倍の水準が継続しています。



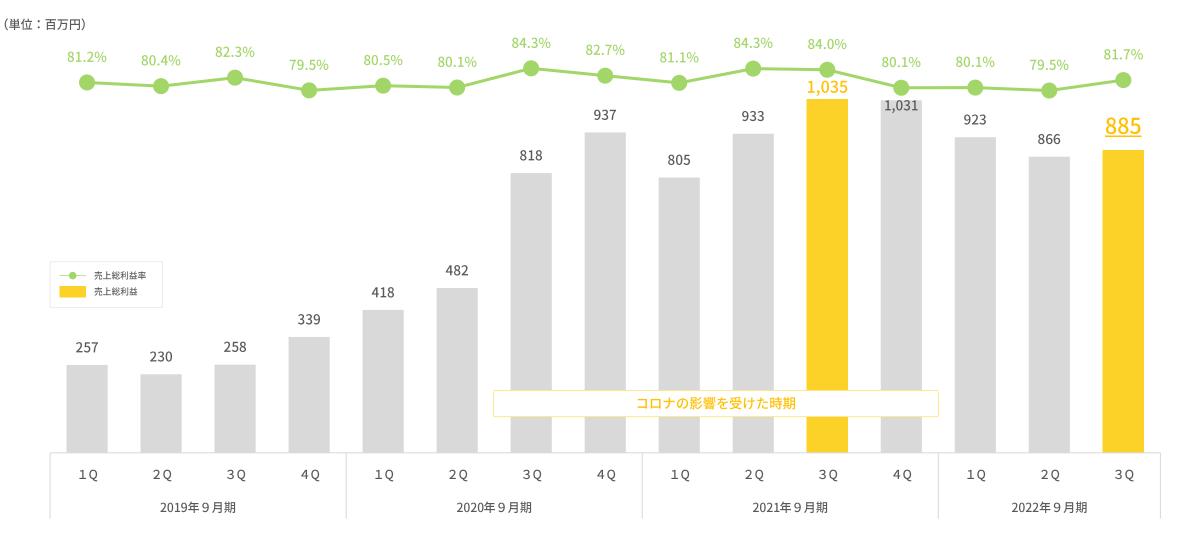
売上高及びテイクレート推移

・広告配信代行などのその他サービスの売上が減少し、売上高は前年同期比12.1%、前四半期比0.7%減少しました。 それに伴い、Makuake以外のテイクレートが前四半期比1.2pt減少、全体のテイクレートは22.7%となりました。



売上総利益及び売上総利益率推移

その他サービス関連の原価が減少したことにより売上総利益及び売上総利益率が微増しましたが、引き続き原価構造に変化はなく80%程度の売上総利益率で推移しています。



販管費推移

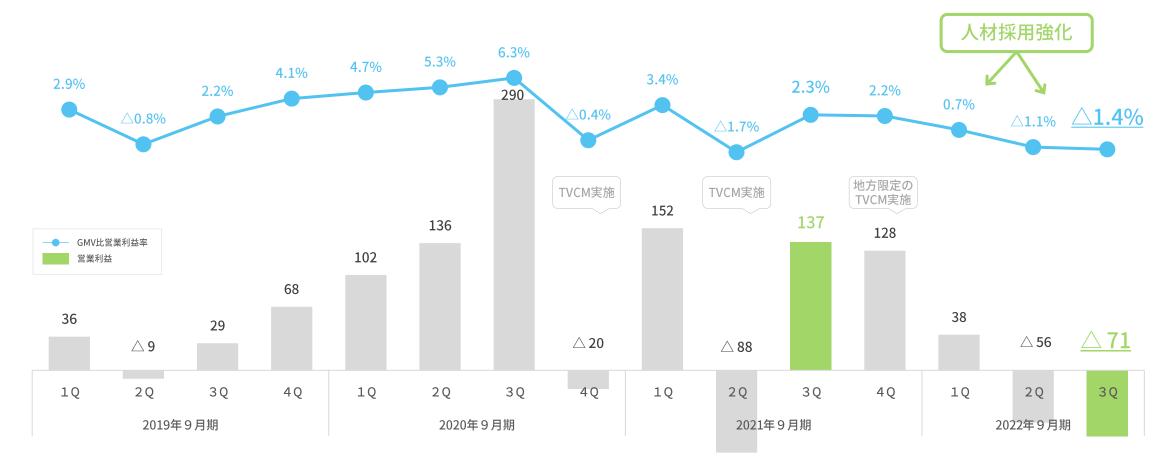
 ・2Qにおいて採用を確定した人員の入社により人件費が増加した一方、上半期における採用強化で増加した諸費用 (消耗品費など)が減少し、「回収手数料・その他」が前四半期比減少しました。

(単位:百万円) TVCM実施 TVCM実施 地方限定の 1,021 TVCM実施 957 957 922 897 903 884 274 303 653 527 275 回収手数料・その他 広告宣伝費 人件費 362 345 315 271 239 228 221 407 232 1Q 2 Q ЗQ 4Q 1Q 2 Q 3Q 40 1Q 2 Q ЗQ 40 1Q 2 Q ЗQ 2019年9月期 2020年9月期 2021年9月期 2022年9月期 (※) 2022年9月期2Qから人件費の科目を見直しています。

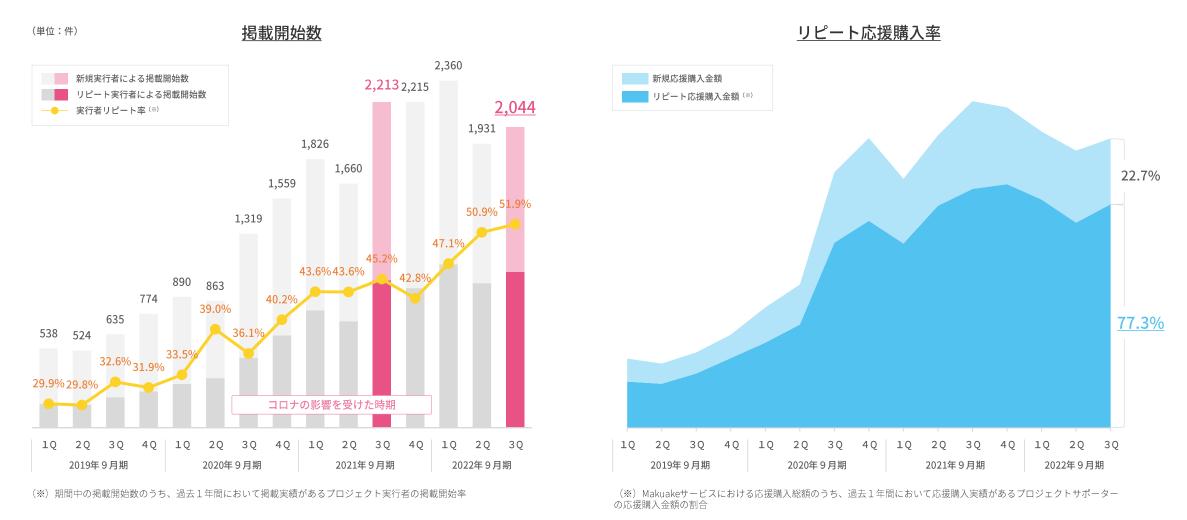
営業利益及びGMV比営業利益率推移

 その他サービスの売上減少に加え、2Qに内定を出した人員の入社が続いたことで人件費が増加し、営業利益及び 営業利益率が引き続きマイナスで推移しています。

(単位:百万円)

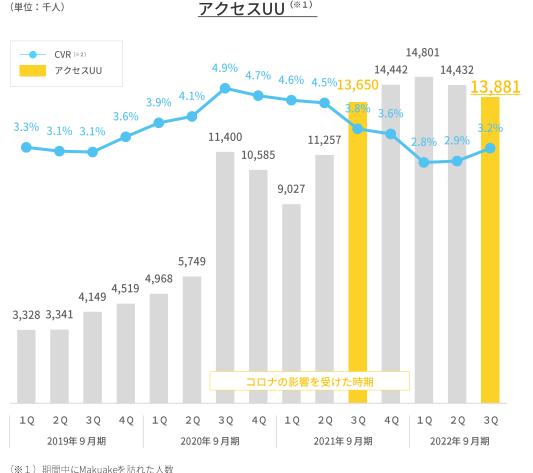


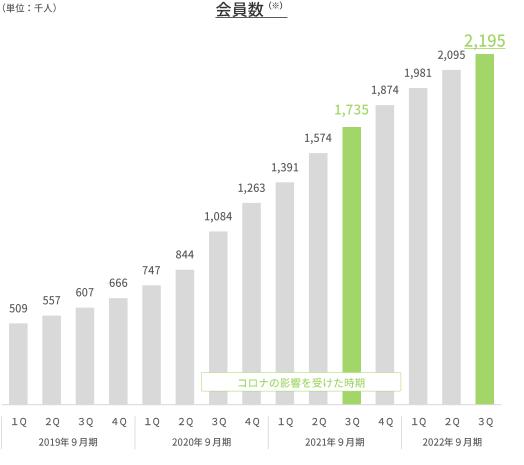
 ・掲載までのオペレーション改善が功を奏し、リピート実行者の掲載が増加したことで掲載開始数が増加した一方、 新規案件の獲得に課題が残りました。リピート応援購入率は引き続き高い水準を維持しています。



重要指標の推移(2)

・広告提案やメディア露出のオペレーションが育成途中であることから実行者の広告配信やメディア露出が減少し、 アクセスUUが減少しましたが、ユーザー体験向上施策によりCVRが0.3pt改善しました。会員は堅調に伸びています。





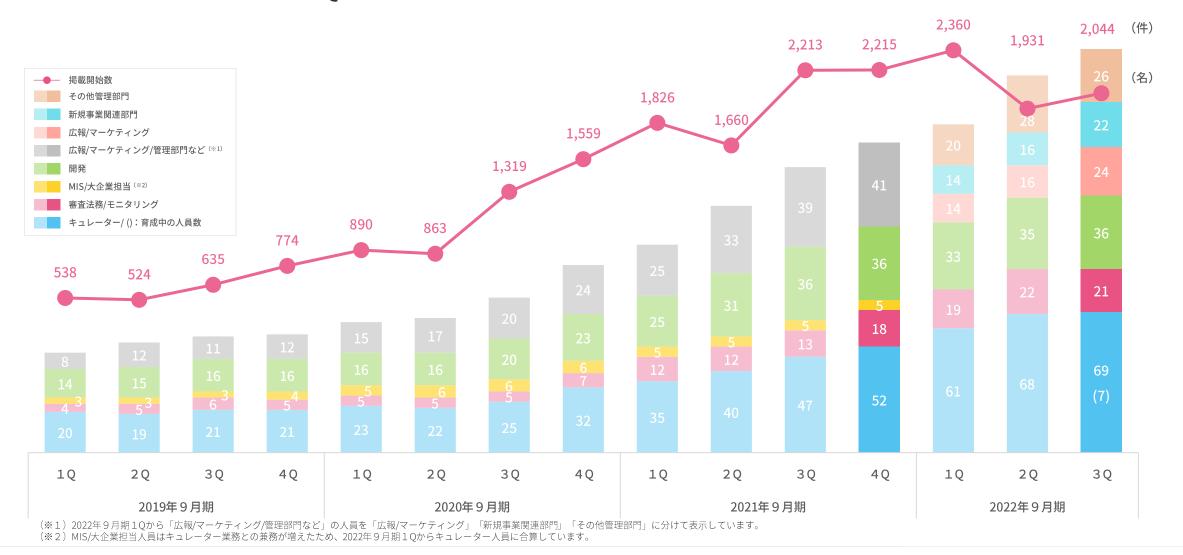
(※)会員登録した人の累計=1度でも応援購入したことのある人

(※1)期間中にMakuakeを訪れた人数 (※2)CVR:コンバージョン率。MakuakeにおけるアクセスUUの応援購入率

応援購入件数÷アクセスUU。応援購入件数はAppendixをご確認ください。

掲載開始数及び人員数推移

・キュレーター及び審査法務の合計人数は2Qから変動なく90名となりました。一方、その他の部門において、ユー ザー体験をより強化するために2Qに先行採用した人員の入社が続き、全体の人員が200名弱の規模になりました。



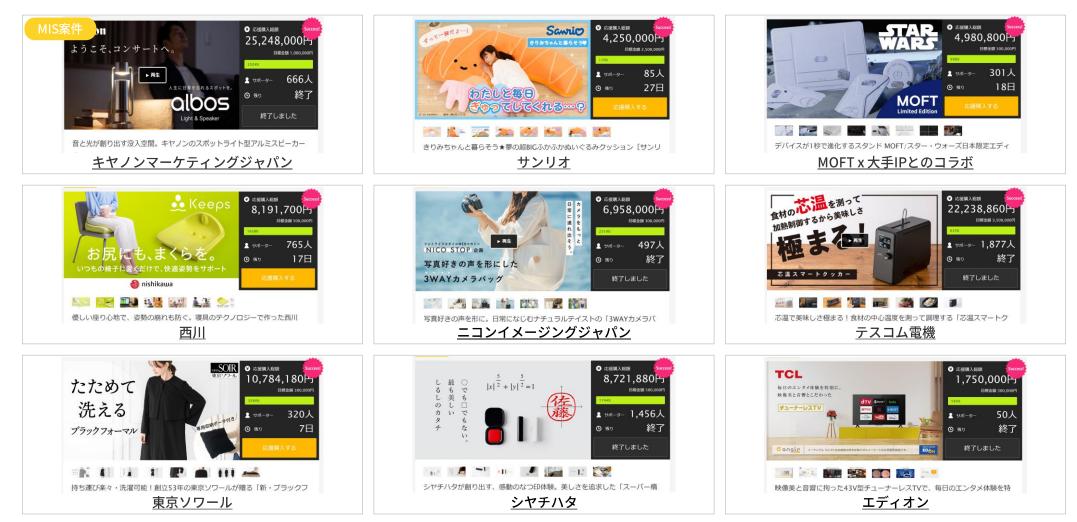
2022年9月期3Qに掲載を始めた主なプロジェクト

・新商品のリリースはMakuakeという流れを作り、何度も繰り返しMakuakeを利用している実行者のプロジェクトが 継続的に人気を集めているほか、体験や想いの実現を応援する購入が多く集まりました。



2022年9月期3Qに掲載を始めた主なプロジェクト(大企業)

・Makuakeがあるからこそ世の中にデビューすることができた大企業の尖った商品が次々と登場、サポーターに 面白い・楽しい体験を提供し、人気を集めました。



2022年9月期3Qに掲載を始めたSDGs関連プロジェクト

技術革新から生まれた環境にやさしい商品や従来は廃棄されてしまっていた素材を使ったアップサイクル商品、
 応援購入を通じて環境だけでなく社会への貢献も配慮した商品などSDGsを意識している企業が益々増えています。

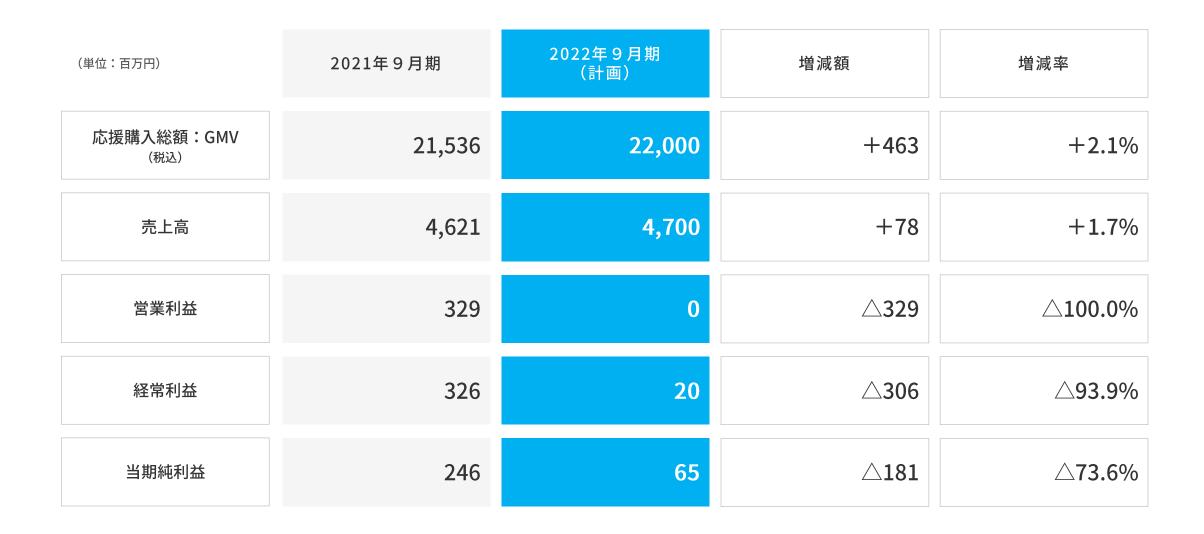






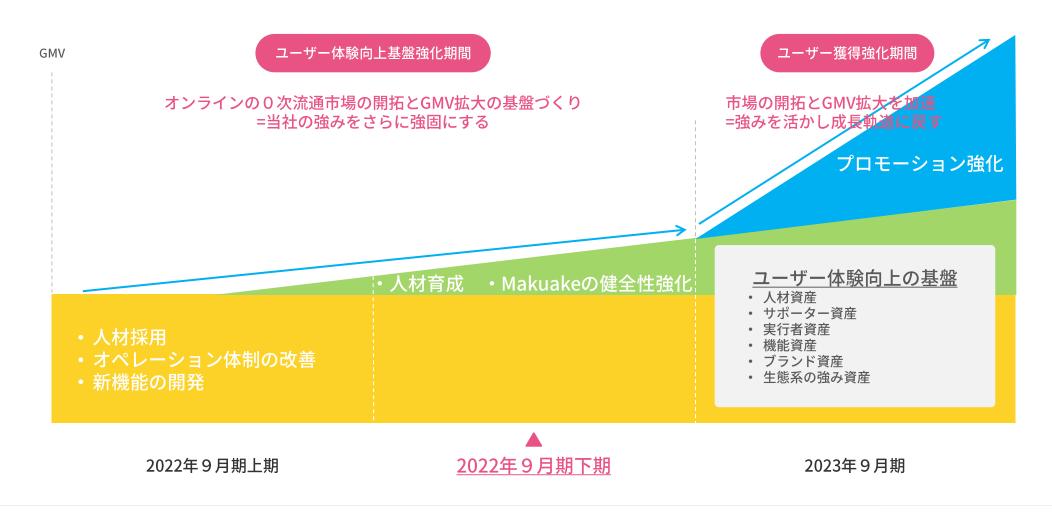
2022年9月期下期 成長戦略の進捗状況

・前期比でGMV2.1%増加、売上高1.7%増加を目指しつつ、営業利益については黒字体制の維持を狙っていきます。



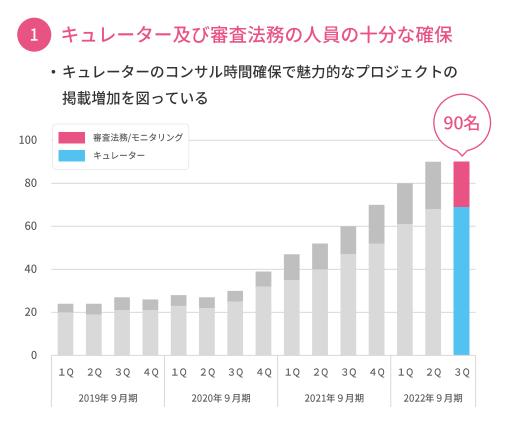
下期及び来期に向けての成長ストーリー

・上期に引き続きオペレーション体制の改善や新機能開発を続けていくと同時に、Makuakeの健全性にフォーカスを 当て、よりよいユーザー体験の基盤づくりに注力していきます。





・キュレーター及び審査法務の人員体制を90名まで伸ばし、魅力的なプロジェクトの掲載を増やしていく基盤を作っています。また、新規実行者の獲得を加速していくための人員の確保も進みました。



育成期間が終了	<u>了した人員の月間平均</u>	<u>プロジェクト担当件数</u>	(3Q末時点)
		100/	-

キュレーター	10.81牛
審査法務	32.4件

2 広報及びマーケティング人員の増強 40からの広報/マーケティング施策強化のために人材確保

- ・正しい認知向上を通じた実行者の獲得を狙う
- ・SEO/インフルエンサーなどを活用した新たなマーケティング戦略開始予定



3 新規事業関連人員の増強

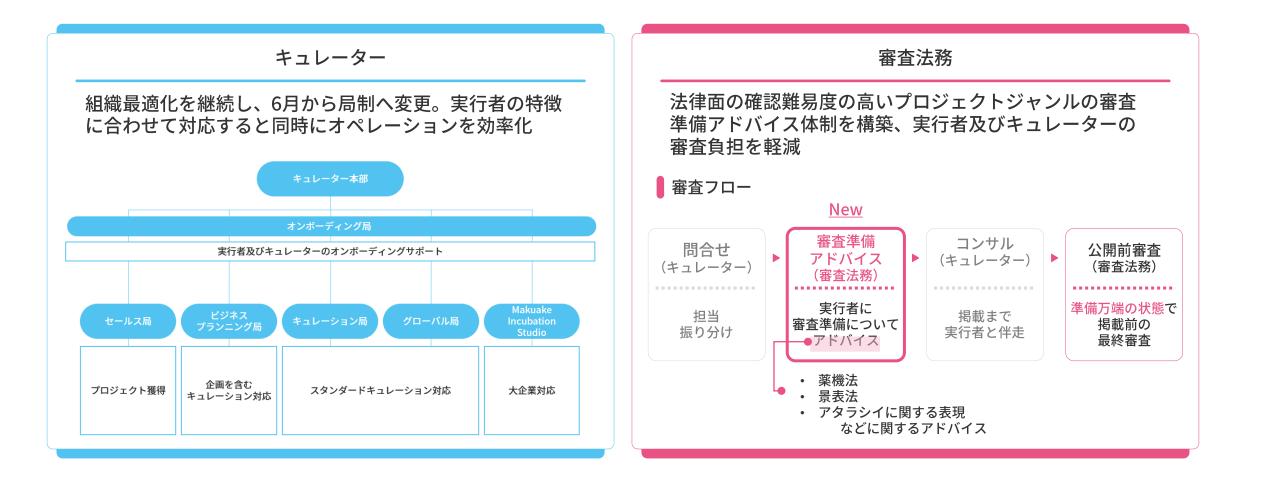
Makuakeの生態系を強化するために人材確保

Makuake応援仕入れ/Makuake Global/Makuake STOREを きっかけとした実行者獲得及びGMVへの貢献を目指す





・実行者の特徴に合わせてサポートができるよう、キュレーターの組織体制最適化を継続しています。また、実行者に審査準備についてアドバイスをする審査法務体制を構築し、実行者やキュレーターの審査負担軽減を図っています。

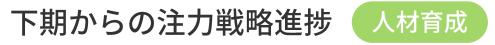




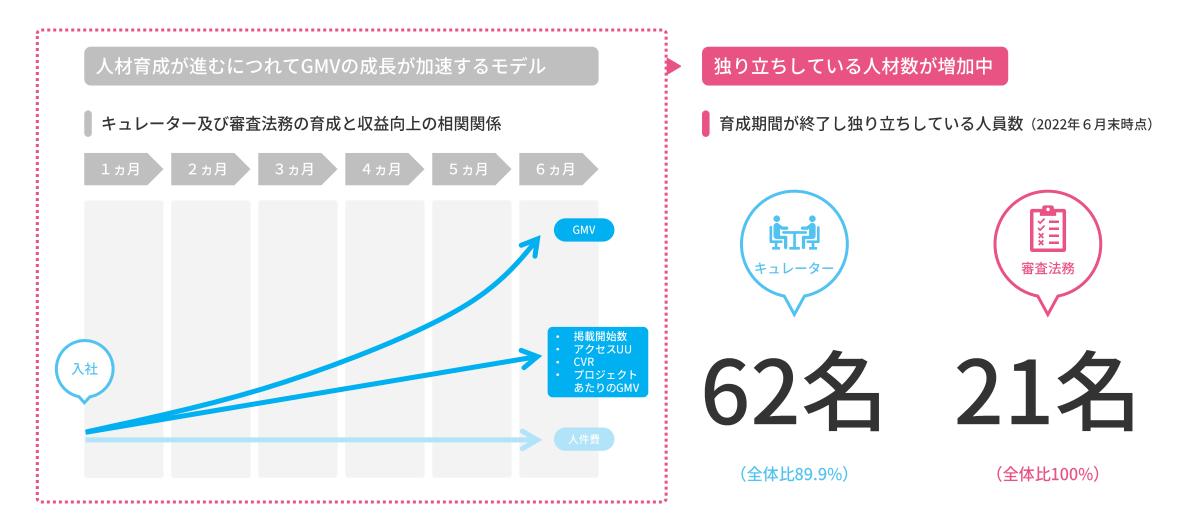
・業務委託を含む開発人員の増強やチーム別CTOの任命などを行い開発体制を大幅に強化、アタラシイ商品との出会 いから手元に届くまでの体験を改善する新機能を次々とリリースしています。

<u>3Qでリリースした主な新機能</u>





・キュレーターは6ヵ月、審査法務は3ヵ月の育成期間を通してそれぞれの専門性を向上させ、高品質のサービス提供ができるよう育てています。また、育成期間が完了し、独り立ちしている人員の割合が堅調に増えています。



下期からの注力戦略進捗

Makuakeの健全性強化

第三者やユーザーのご意見をいただく場を設け、サービスの健全性を強化できる体制を作りました。また、継続して基本方針に則った審査を徹底することに加え、商品を届けるまでの実行者サポートを拡充していく予定です。



2 Makuake基本方針に則った審査の徹底

- ・Makuakeでしか買えないプロジェクトが並んでいる状態を作ることで サポーター体験を向上
- プロジェクト掲載基準(2022年3月1日プレスリリースにて公開)
- ・プロジェクトの要素に「アタラシイ」があること
- ・実行者の「挑戦」や「ストーリー」があること
- ・基本条件をクリアしていること

3 商品を届けるまで実行者をサポートする体制拡充予定

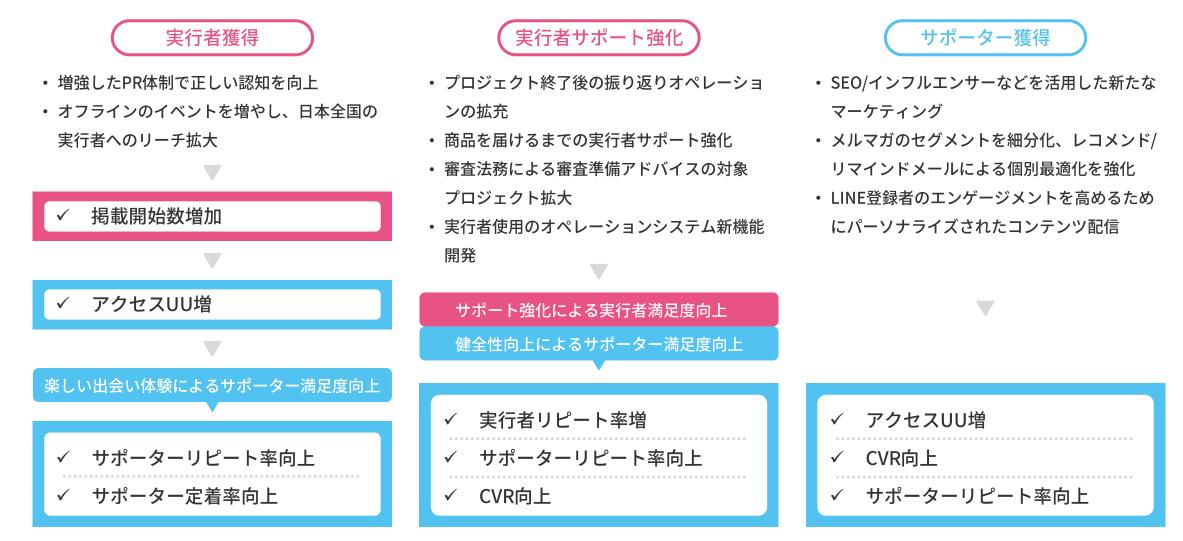
・プロジェクト終了後の実行者に対し商品を届けるまでのサポートを拡充することで実行者のリピート率及びサポーターの満足度向上を目指す

今後拡充予定の施策

- ・プロジェクト終了後のフローをサポートする担当を付ける
- ・プロジェクト終了後実行者からサポーターへ発信する内容確認UI改善

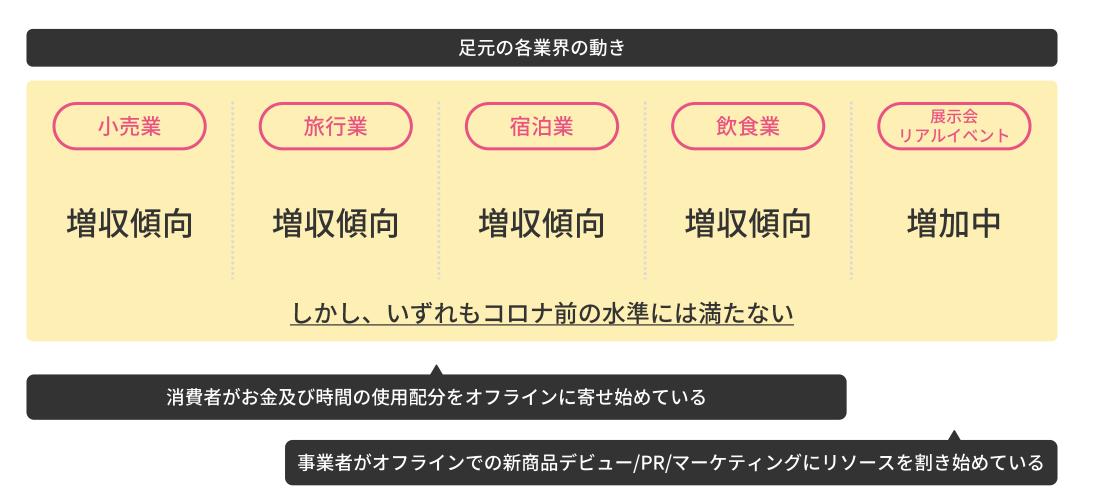
2022年9月期4Qから始める新たな施策

・実行者獲得や実行者サポートを拡充する新たな施策を展開し、更なるユーザー(実行者及びサポーター)体験向上を実現していきます。



当社を取り巻く外部環境の変化:オフラインへの一時的な戻り

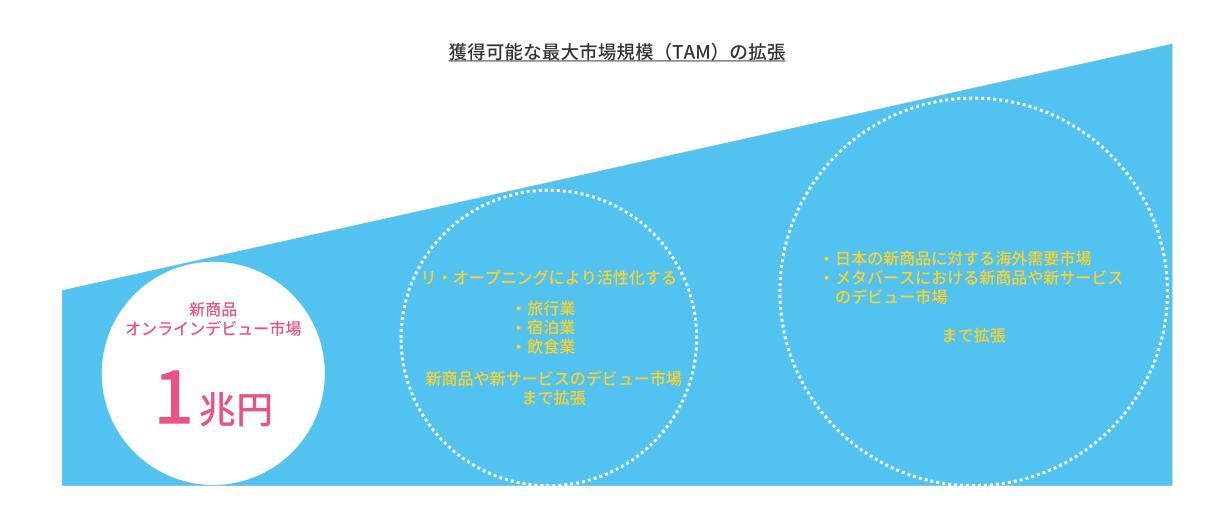
・リ・オープニングが加速し始めた5月以降、事業者、消費者のオフラインへの一時的な戻り傾向が顕在化しつつあり、4Qにかけてその影響が拡大していく可能性が高いと予想しています。



中期経営計画及び 進捗報告 (2022年-2025年)

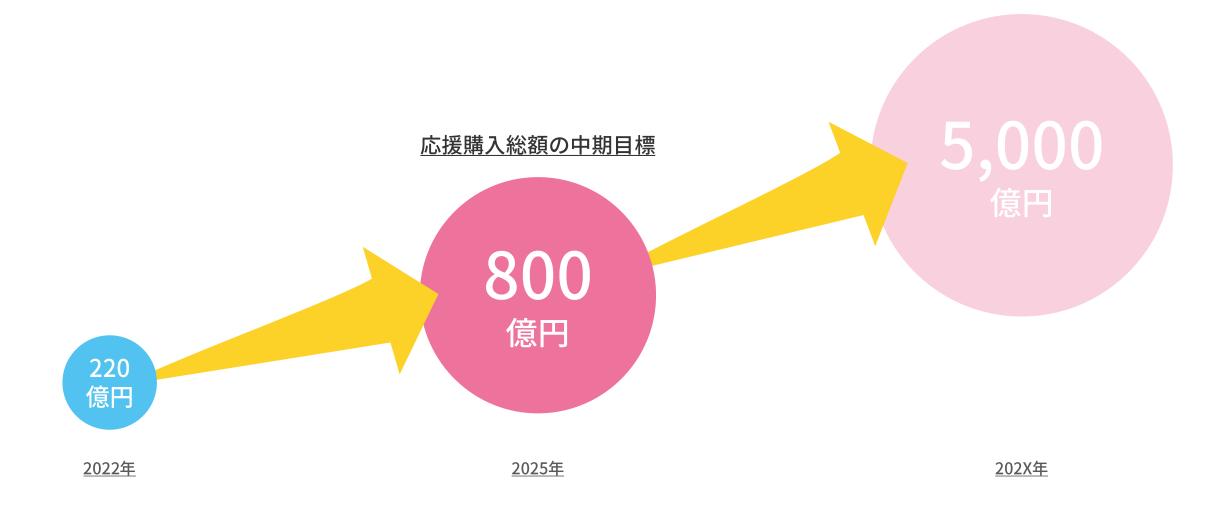
獲得可能な最大市場規模(TAM)の拡張

・リ・オープニングにより活性化する旅行業、宿泊業、飲食業を始め、将来的には日本の新商品に対する海外需要市 場及びメタバースにおける新商品や新サービスのデビュー市場まで当社のTAMは益々拡張していくと考えます。



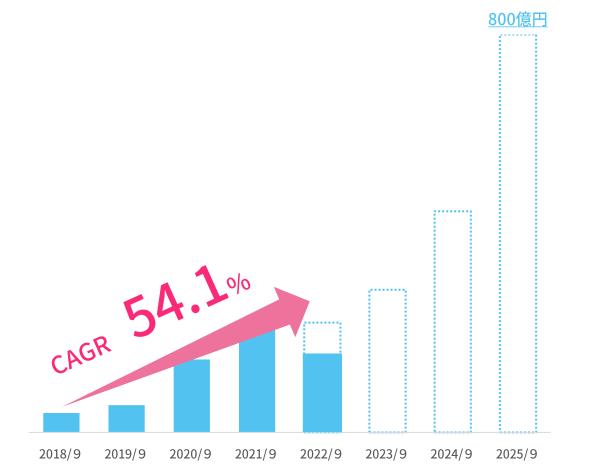
応援購入総額 (GMV) の中期目標

・2025年までにGMV800億円の達成を目指しています。



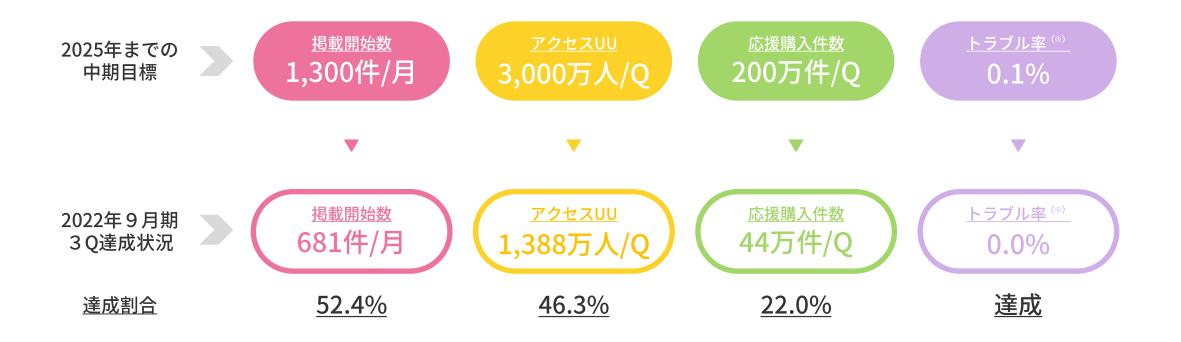
GMV中期目標の進捗

・今期は中期経営計画のKGIであるGMV800億円の目標達成を見据えて、ユーザー体験向上の基盤を強化するために GMVの成長より優先して社内体制を強化しています。



決算期	応援購入総額	増減率
2018年9月期	3,902	+80.2%
2019年9月期	5,480	+40.4%
2020年9月期	14,664	+167.6%
2021年9月期	21,536	+46.9%
2022年9月期	22,000	+2.1%
2023年9月期		
2024年9月期		
2025年9月期		

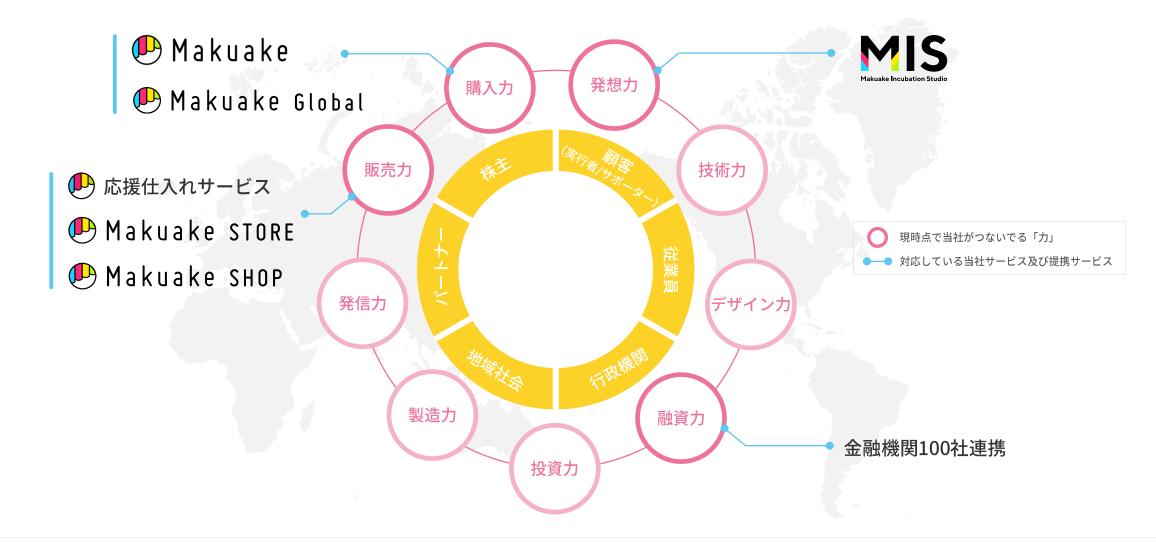
・応援購入件数以外の全てのKPIが堅調に推移しています。一方、少し遅れを取っている応援購入件数においてはユー ザー体験向上施策を通して来期以降改善すると見込んでいます。



(※)トラブル率:プロジェクトページ記載内容と実際のリターンに重大な齟齬があり、応援購入の本来の目的を実現できず当社による調整が発生したプロジェクトの割合

長期的な成長イメージ

・Makuakeの生態系拡大や強化により社会のインフラとして、世界中の個人や法人が持っている様々な「力」をつな ぎ、新製品や新サービスの創出や広がりをサポートしていきます。



成長におけるリスク要因とその対策

・中期成長計画を推進していく上で発生し得るリスクについてはその内容を把握し、分析/評価した上でその対策を講じ、リスクコントロールをしています。

	考えられるリスク要因	事業への影響度	事業への影響内容	リスクに対する対策
	ハッキングなどによる個人情報流出	高	社会的信用が失われ、当社の事業及 び業績に影響を及ぼす可能性	・定期的なセキュリティ監査実施
2	トラブルプロジェクト(納品遅れな ど)の発生	中	プラットフォーム運営者としての責 任を問われる可能性	・審査とモニタリング体制の継続運用及 び強化
(3)	インターネット広告規制によるイン ターネット広告市場の大幅減少	中	当社事業における集客力の低下などが生じ、当社の経営成績及び財政状	・ネット広告媒体や代理店との情報共有 ・スピーディーな事前対策
4	人材確保及び流出に対するリスク		態に影響を及ぼす可能性 当社が計画する人材を適時に確保で きない場合や人材の育成が計画どお	 リモート勤務体制/多様な働き方に対す る柔軟な制度のブラッシュアップ
(※) その他	ものリスクについては、「有価証券報告書/事業等のリスク」をご参照下さい。	低	りに進捗しない場合、当社人員の社 外流出などが生じた場合、当社の事 業成長に影響が生じ、経営成績及び 財政状態に影響を及ぼす可能性	 ・健全な財務状況による適切な給料体系の維持 ・新規事業や新拠点などの創出による多様なキャリア選択肢の確保

Appendix

(単位:百万円)	2021年9月期 3Q(累)	2022年9月期 3Q(累)	増減額 (YoY)	増減率 (YoY)
応援購入総額:GMV (税込)	15,729	15,639	△90	△0.6%
売上高	3,332	3,326	△6	△0.2%
売上総利益	2,774	2,675	△98	△3.6%
営業利益	201	△89	△290	_
経常利益	200	△66	△267	_
四半期純利益	129	7	△122	△94.6%

(単位:百万円)	2021年9月期 3Q(単)	2022年9月期 3Q(単)	増減額 (YoY)	増減率 (YoY)
応援購入総額:GMV ^(税込)	5,917	5,245	△672	△11.4%
売上高	1,232	1,083	△149	△12.1%
売上総利益	1,035	885	△149	△14.5%
営業利益	137	△71	△209	_
経常利益	137	△70	△208	_
四半期純利益	89	∆54	△144	_

(単位:百万円)	2022年9月期 2Q(単)	2022年9月期 3Q(単)	増減額 (QoQ)	増減率 (QoQ)
応援購入総額:GMV (税込)	5,024	5,245	+221	+4.4%
売上高	1,090	1,083	△7	△0.7%
売上総利益	866	885	+19	+2.2%
営業利益	△56	△71	△15	_
経常利益	∆34	△70	△36	_
四半期純利益	△28	△54	△26	_

	2021年9月期 3Q(単)	2022年9月期 3Q(単)	増減額 (YoY)	増減率 (YoY)
掲載開始数(件)	2,213	2,044	△169	△7.6%
実行者 リピート率(%) ^(※1)	45.2	51.9	_	+6.7pt
リピート 応援購入率(%) ^(※2)	73.2	77.3	_	+4.1pt
アクセスUU(人)	13,650,096	13,880,515	+230,419	+1.7%
会員数(人)	1,735,354	2,195,111	+459,757	+26.5%
応援購入件数(件)	515,757	448,387	△67,370	△13.1%

(※1) 期間中の掲載開始数のうち、過去1年間において掲載実績があるプロジェクト実行者の掲載開始率 (※2)Makuakeサービスにおける応援購入総額のうち、過去1年間において応援購入実績があるプロジェクトサポーターの応援購入金額の割合(2020年9月期より集計方法を改善し、精度を上げました。)

	2022年9月期 2Q(単)	2022年9月期 3Q(単)	増減額 (QoQ)	増減率 (QoQ)
掲載開始数(件)	1,931	2,044	+113	+5.9%
実行者 リピート率(%) ^(※1)	50.9	51.9	_	+1.0pt
リピート 応援購入率(%) ^(※2)	74.0	77.3	_	+3.3pt
アクセスUU(人)	14,431,670	13,880,515	△551,155	△3.8%
会員数(人)	2,094,630	2,195,111	+100,481	+4.8%
応援購入件数(件)	413,512	448,387	+34,875	+8.4%

(※1) 期間中の掲載開始数のうち、過去1年間において掲載実績があるプロジェクト実行者の掲載開始率 (※2)Makuakeサービスにおける応援購入総額のうち、過去1年間において応援購入実績があるプロジェクトサポーターの応援購入金額の割合(2020年9月期より集計方法を改善し、精度を上げました。)

当社は現在成長過程にあり、内部留保を確保し、事業規模の拡大や収益力の強化に 向けた投資を優先的にすることが、将来における企業価値の最大化と、継続的な利 益還元に繋がると考えております。

今後の剰余金の配当につきましては、内部留保の確保とのバランスを考慮した上で 実施していくことを基本方針としておりますが、当面は内部留保を優先させる方針 であり、現時点において配当実施の時期につきましては未定であります。

- 当資料に記載された内容は、2022年7月26日現在において一般的に認識されている経済・社会などの情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化などの事由により、変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず当社が開示している有価証券報告書などをご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な 国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事などがあった場合は、当社が合理的と判断した一定の前提に基づき「見通し情報」の更新・修正を行うことがございます。

IRに関するお問合せ

IR@makuake.co.jp

Makuake